

「経営発達支援計画」事業評価

紀宝町商工会では、経営発達支援事業の実施に当たり、事業の評価および見直しをするため「経営発達支援計画事業評価委員会」を開催しました。下記の通り「事業評価委員会」の開催並びに結果についてご報告いたします。

記

経営発達支援計画事業評価委員会

- 1 開催日時 令和2年7月3日（金）午後3時～4時20分
- 2 開催場所 紀宝町商工会会議室
- 3 出席者名 委員長 田尾 友児（紀宝町商工会 会長）
副委員長 廣畑 勝也（紀宝町商工会 副会長）
委員 高垣 和郎（三重県よろず支援拠点 コーディネーター）
委員 田中 長一（紀宝町産業振興課 課長補佐）代理
委員 倉前 太（紀宝町商工会 副会長）
委員 山木 勝（三重県商工会連合会 総務業務課）
事務局長 加藤 克英（紀宝町商工会）
経営指導員 莊司 正樹（紀宝町商工会）
経営指導員 上村 浩義（紀宝町商工会）
- 4 内 容（1）経営発達支援計画について

（2）令和元年度事業報告について

令和元年度
経営発達支援事業評価委員会報告書

実施期間：平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

紀宝町商工会

I. 経営発達支援事業の内容

小規模事業者の経営の改善・発達を支援するため下記の4つの基本指針に基づき、経営発達支援に向け小規模事業者の事業計画の策定、経営の変化による計画変更等、小規模事業者の経営維持・持続的発展が可能となるよう、各事業所に寄り添った伴走型支援を実施した。

指針①：経営状況の分析

指針②：事業計画策定支援・支援後の実施

指針③：地域経済動向調査、需要動向調査・提供

指針④：新たな需要の開拓に寄与する事業

【事業項目】

1. 地域の経済動向調査に関すること（指針③）
2. 経営状況の分析に関すること（指針①）
3. 事業計画策定支援に関すること（指針②）
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること（指針②）
5. 需要動向調査に関すること（指針③）
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること（指針④）

1. 地域の経済動向調査に関すること（指針③）

(1) 中小企業調査の活用・消費者動向調査・国が提供するビッグデータの活用

① 実施内容

令和元年度については、上記の6事業項目のうち2・3・4・6の事業を実施した。このため、本事業については結果的に未実施となった。

② 数値目標及び実績

(単位：回)

	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
景気動向調査の提供										
中小企業景況調査（拡充）	4	未実施	4		4		4		4	
消費者動向調査	1	未実施	1		1		1		1	
国のビッグデータの活用調査	1	未実施	1		1		1		1	

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

(1) 巡回・窓口相談時の経営分析

① 実施内容

小規模事業者持続化補助金の申請を含む事業計画の策定、及び金融機関への事業資金借入申込の際の判断材料として支援を行った。また、補助金等の申請及び金融相談のみならず、

意欲ある小規模事業者や、若手経営者及び事業を始めて年数が浅い事業者等に、事業を持続的発展につなげるには、経営分析を行い計画に沿った経営をしていくことの必要性を認識していただいた。

②数値目標及び実績

(単位:件)

分析対象事業所数	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
巡回・窓口指導	5	14	5		5		10		10	

(2) セミナー参加者の経営分析

① 実施内容

ビジネスコンサルタント松本氏の協力を得て経営分析セミナーを実施、経営分析の必要性及び重要性を深く認識し自社の経営状況を把握していただいた。

開催日時：令和元年11月21日（木）19:00～21:00

受講者数：8名

講師：合同会社地域創造研究所 所長 松本圭史 氏

内容：環境分析について、「戦略シート」を基に3C分析、SWOT分析、SO戦略、4P戦略を指導した。財務分析について、経済産業省のローカルベンチマークを紹介しつつ、簡易経営分析に数値を埋めながら、数値内容の説明を行った。

②数値目標及び実績

セミナーの開催	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
経営分析セミナー（回）	1	1	1		1		2		2	
経営分析セミナー参加者（人）	10	8	10		10		20		20	

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

(1) 経営分析を行った事業者を対象とした事業計画策定セミナーの開催

① 実施内容

ビジネスコンサルタント松本氏の協力を得て事業計画策定セミナーを実施、事業計画策定の必要性及び重要性を認識してもらうことと、事業計画策定を目指す意欲ある小規模事業者の掘り起こしを行った。

開催日時：令和元年11月22日（金）19:00～21:00

受講者数：11名

講師：合同会社地域創造研究所 所長 松本圭史 氏

内容：事業計画立案について資金調達・用途シートを利用し、資金用途を明確にする

など必要資金についての計画、立案について説明を行った。また、予測損益計算書シートを利用し、月別の売上及び経費予測を行い、資金予定表シートを利用し、月別での資金繰り予測を行った。

②数値目標及び実績

	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
セミナーの開催										
事業計画策定セミナー（回）	1	1	1		1		2		2	
事業計画策定セミナー参加者（人）	15	11	15		15		30		30	

(2) 事業計画の策定

① 実施内容

巡回及び窓口相談業務において、意欲ある小規模事業者を事業計画策定セミナーへ参加に導き、事業計画策定事業者の候補とし事業計画策定支援を行い、事業計画策定に至った。小規模事業者持続化補助金申請者に対しては、先の経営分析を行ったうえで、事業計画策定支援を行い、補助金申請を行った。

②数値目標及び実績

(単位:人)

	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
事業計画策定										
事業計画策定セミナー参加者	10	6	10		10		20		20	

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

(1) 事業計画策定後のフォローアップ支援

① 実施内容

事業計画策定後の事業者に対し、随時、巡回等にてフォローアップを実施した。経営指導員が巡回訪問し事業の進捗状況や、課題解決に努めた。

②数値目標及び実績

(単位:回)

	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
専門家派遣										
フォローアップ支援	10	6	10		10		20		20	

(2) 専門家による派遣による高度専門的支援

① 実施内容

事業計画における経営課題の解決に向け、専門家派遣による支援を行った。また経営指導員が巡回等にてフォローアップを実施した事業者に対して、直面した専門的な課題について、専門家と連携し課題解決にあたった。

②数値目標及び実績

(単位:回)

	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
事業計画策定										
専門家派遣による支援	10	15	10		10		20		20	

●事業計画策定支援に関する平成元年度の実績

1. 三重県版経営向上計画のステップ2の申請 11件
2. 小規模事業者持続化補助金の申請 20件

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

(1) 地域内での消費者ニーズ調査・調査機関からの情報収集と提供

① 実施内容

令和元年度については、上記の6事業項目のうち2・3・4・6の事業を実施した。このため、本事業については結果的に未実施となった。

②数値目標及び実績

(単位:回)

	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
地域内消費者ニーズ調査										
地域内での消費者ニーズ調査対象事業者数	5	未実施	5		5		5		5	
調査機関からの情報収集と提供対象事業者数	5	未実施	5		5		5		5	

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

(1) 展示会、商談会の出展支援

① 実施内容

小規模事業者が開発した特産品等の需要開拓を図るため、都市圏で開催される既存の展示会や商談会、また三重県や三重県商工会連合会が主催する商談会への出展を支援し、新たな需要の開拓を促進した。また、出展期間中には経営指導員等が陳列、接客などのきめ細やかな伴走支援を行った。

(1)名 称：第2回2019みえのまるみえ大商談会

日 時：令和元年11月13日（水）

会 場：フレックスホテル 3階（三重県松阪市中央町36-18）

担 当：三重県商工会連合会 南部経営支援センター

参加企業：簡中野商店、キッチンちあき

三重県中南勢の商工会、商工会議所の会員企業により開催、地域の商品が根強く親しまれていくような商談会として、生産者・販売者の企業同士の活性化を図る。

- ・対 象 者：南部地域の商工会（13 商工会）・商工会議所（5 会議所）
- ・参加企業：60 社 参加バイヤー企業数 92 社 参加バイヤー数 155 名

(2)名 称：イオンモール明和店

日 時：令和元年11月23日(土)～24(日)

会 場：イオンモール明和店

担 当：三重県商工会連合会 南部経営支援センター

参加企業：簡中野商店

販路開拓と特産品のPRを目的に「食の特産品フェア」に出展、自社パンフレット、商談会シートを用意し訪れるバイヤー、飲食店関係業者に対して自社商品について説明を行い、さまざまな質問等を受けて大変良い手応えを感じた。

(3)名 称：第13回アグリフードEXPO大阪

日 時：令和2年2月19日（水）～20日（木）

会 場：ATCアジア太平洋トレードセンター（大阪市住之江区南港北2-1-10）

担 当：日本政策金融公庫

参加企業：はぎファーム

「国産」にこだわり広域に販路拡大を目指す農業経営者や、食品企業とバイヤーをつなぎ、ビジネスマッチングの機会を提供する展示商談会に出展した。特に国産ライムは希少であるため高評価であった。関西方面への販路の拡大を課題としており、今後もこの展示商談会に出展し情報発信を行っていききたい。

来場者数 13,508 名 （昨年度来場者数 15,892 名）

② 数値目標及び実績

(単位:件)

	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
展示会及び商談会										
展示会、商談会出展事業者数	7	4	7		10		10		10	
成約件数	2	1	2		3		3		3	

(2) ITを活用した需要拡大支援

① 実施内容

新たに本商工会のホームページを開設し、小規模事業者の需要開拓に関する支援として、広く販路開拓につながる情報を発信するため下記の情報を含むページを構築した。新規顧客の獲得や通販事業の戦略について有効な活用を行い、地区外に販路を求めている小規模事業者に対し積極的な支援を行っていく。

- ・需要動向調査
- ・経済動向調査
- ・事業計画策定セミナーの実施
- ・各種展示会等の出展情報
- ・商業、サービス業等を発信するサイトなど

II. 地域経済の活性化に資する取り組み

1. 小規模事業者の販路拡大の創出及び創業支援

① 実施内容

地域内の関係団体（町・漁協・JA・自治会連合会・地域内事業者等）と連携を図り、地域経済発展のため様々な事業を展開する。

② 数値目標及び実績

	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
地域活性化事業										
紀の宝みなと市（回）	12	10	12		12		12		12	
空き家リノベーション支援（件）	3	2	3		3		3		3	
木造住宅建設促進対策（件）	18	18	18		20		20		20	
建物解体助成（件）	10	17	10		10		15		15	
空き店舗入居支援（件）	5	2	5		5		7		7	

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取り組み

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

① 実施内容

小規模事業者等の課題解決に向けて、紀宝町商業活性化委員会、南部経営支援センター、日本政策金融公庫と連携し、連絡・協調情報交換を図った。

②数値目標及び実績

(単位:回)

会議・協議会	元年		2年		3年		4年		5年	
	目標	実績								
紀宝町商業活性化委員会	6	6	6		6		6		6	
南部支援センター経営支援会議	4	4	4		4		4		4	
マル経協議会（日本公庫）	2	2	2		2		2		2	

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

(1) 専門スタッフ研修会

① 実施内容

三重県商工会連合会が主催する、専門スタッフ研修会を受講した。

②実績

(単位:回)

三重県商工会連合会	元年	2年	3年	4年	5年
専門スタッフ研修会	23				

(2) スーパーバイザー派遣事業

① 実施内容

経営指導員等が、経営計画策定支援を円滑にするため、スーパーバイザー（専門家）が経営指導員等に同行のうえ支援対象者を巡回訪問し、現地指導（OJT）研修を行った。

②実績

(単位:回)

三重県商工会連合会	元年	2年	3年	4年	5年
スーパーバイザー派遣事業	4				

■評価

- ・市場調査等の調査事業に関しては、未実施ということで評価はできない状態であるが、今後調査を行う場合、調査内容や方法をじっくりと研究し行えるよう準備をしておく必要がある。
- ・セミナーの開催については、目標数値を達成し概ね評価はできるものの、参加者への周知をもっと的確に行う必要がある。ホームページも活用するなど工夫が必要である。
- ・経営計画書の策定については、持続化補助金や三重県版経営向上計画の実績により十分な評価であると同える。今年度も、目標件数が増加するため事務局の体制を整えより一層の支援強化を望む。
- ・新たな需要開拓については概ね評価はできるが、出展者が同じ事業者に偏らないことに注意すること。若い世代に活路を見出し販路の拡大に努めること。
- ・ホームページを新設したことは大きな評価である。商工会の情報や地域の情報を上手く公開し、さらに会員事業者プラスになるような仕組みづくりが必要である。

■意見

- ・商工会が何をしていくべきか、大きな目線で事業を見ていく必要がある。事業者の生き残りに何が必要か。町の活性化のための事業として考えていく必要があり、実績数値の評価よりも他に求めているものが何なのか、この事業の今後の課題と目的とするところである。
- ・全体の事業としては概ね事業は達成されていると評価される。この事業は平成31年3月に認定され今年で2年目の事業である。まだ入り口に入った状態であるので、今年度実施する事業について分析等をしっかり行ってほしい。